

意見書案第2号

湖北献血ルーム廃止の白紙撤回を求める意見書

湖北献血ルームは、400ml献血・成分献血の導入に伴い、成分献血の採血場所として長浜赤十字病院に平成元年に開設され、平成13年に同病院の旧病棟の解体に伴って現在の場所・長浜サンパレスに移転開設された。ここは、湖北地域の献血の拠点施設として、これまで大きな役割を果たしてきている。

また、湖北地域では様々な市民ボランティアが永年にわたり献血の啓発、推進活動に積極的に携わり、湖北献血ルームと市民ボランティアが二人三脚で献血推進事業を展開し、夏場の血液が不足する時期においてもその効果をあげている。

このような中、滋賀県赤十字血液センターから、血液センターの効率化等を理由に平成26年3月をもって湖北献血ルームを廃止したいと口頭説明があった。少子高齢社会を迎えた現在、血液製剤の安定供給のため10代・20代の人たちの献血への協力がより一層必要となる中、このまま廃止されることとなれば、長きにわたって地道に培ってきた市民の献血意識が低下し、今後の湖北の献血事業が大きく後退してしまうことが懸念される。

よって、地域住民の善意がないがしろにされないよう、血液センターと市民および行政が、献血本来の目的に立ち返り、献血事業の推進に資する事業展開のあり方を一緒に考え、導き出すことに特段の配慮をなされるよう要望するとともに、湖北献血ルーム廃止の白紙撤回を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年3月21日

厚生労働大臣

滋賀県知事 宛

長浜市議会議長